

バスケットボール競技専門部の対策

【はじめに】

バスケットボール競技は室内競技であるため、新型コロナウイルス感染のリスクがあるスポーツです。大会会場における局所的に人が集まる場面と、大会会場までの移動場面は感染のリスクが高くなります。このウイルスの感染経路は飛沫感染と接触感染の2つですが、感染していても無症状の期間があり、自覚無く他人に感染させてしまうことと、ヒトの身体を離れても条件によって数日は感染性を有していることがあり、誰もが知らない間にウイルスを運んでしまう危険性があります。誰かがウイルスを大会会場に持ち込み、大会がクラスターになることは絶対に避けなければなりません。

感染拡大を防ぎつつ大会を開催するためには、ウイルスの感染経路を理解した上で、大会に集う全ての人に協力を求めることと、丁寧に各局面の準備を行うことが大切です。安心して大会が行うことができるよう、下記対策について、各チームのご理解、ご協力をお願い申し上げます。

【基本的な考え方】

- ◆ 長崎県中学校体育連盟や JBA が定める新型コロナウイルス感染症に関連したガイドライン等に従うこととし、随時見直しをする。
- ◆ 参加者の活動実績の把握に努め、感染が発生した場合、迅速に濃厚接触者が特定できるようにする。
- ◆ ガイドライン等に記載されている内容について、参加者全員が情報を共有し、感染防止に努める。

【参加者の感染症防止対策・参加条件】

(1) 提出物

- ① 生徒・指導者 【当日提出】(別紙2)学校同行者体調記録表
【学校保管】(別紙1)体調記録表・(別紙5)同意書
- ② 役員・審判・来賓等 【当日提出】(別紙3)来場者体調記録表
【各自保管】(別紙1)体調記録表
- ③ 応援者(選手1名につき、保護者等の応援者は2名まで入場可)
【当日提出】(別紙4)応援者(保護者等)体調記録表
【各自保管】(別紙1)体調記録表

※ 生徒以外のチーム関係者(指導者、応援者)のADカードは、所属中体連の指導のもと、各参加校で事前に準備し、必ず持参・着用すること。役員・審判・来賓等には、受付にてADカードを配付するので、会場内では必ず着用すること。また、体育館内は、試合中のチーム関係者(選手・部員・指導者、応援者)と役員・審判・来賓等のみ入場することができる。

(2) 参加生徒への具体的な留意事項

- ① 普段から密閉・密集・密接を避け、手洗い・うがい・咳エチケットに気を付け健康管理に努める。
- ② 活動前後や移動・応援の際などには、マスクを着用し、こまめに手洗い及び消毒液による手指の消毒を行うこと。移動の際も、できるだけ密な状況を避ける。
- ③ 更衣室等を利用する際は、交代で使用するなど、一度に多数のメンバーが着替え等を行わない。更衣室の換気についても留意する。
- ④ 飲料は、各個人専用として利用すること。(他と共有しない)
- ⑤ 水分補給の際は、周囲となるべく距離を取り、対面を避け、会話は控えめにする。
- ⑥ 飲み残したペットボトル等のドリンクは持ち帰ること。
- ⑦ 観戦にあたっては密な状態とならないよう配慮し、大声での応援は禁止する。
- ⑧ 大会前後2週間の出向いた場所や同行者について、可能な範囲で(別紙6)行動履歴書に記録しておくことが望ましい。(任意)

(3) 応援者への対応

- ① マスクを着用し、密閉・密集・密接を避け、こまめな手洗い・うがい・咳エチケットに気を付ける。
- ② 以下の事項に該当する場合は来場しないこと。
 - ア 体調がすぐれない場合(発熱・咳・咽頭痛・倦怠感・味覚異常・臭覚異常等の症状がある等)
 - イ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - ウ 基礎疾患のある方(肺疾患・心疾患・高血圧・糖尿病等)
- ③ 応援時はハイタッチ等の濃厚接触は自粛し、マスクを着用したうえで、2メートル以上の距離を保って観戦すること。また、大きな声を出しての応援は禁止する。
- ④ 自チームの試合の時のみ入場できる。(入れ替えを行う)勝ち残りの場合は、会場内で待機できる。全試合ハーフアップはできない。また、25日(日)と26日(月)は、試合前のアップ時間を15分確保する。
- ⑤ 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、速やかに主催者に対し濃厚接触者の有無等について報告すること。